



増刊号

2025
INFORMATIONAL
MAGAZINE

加入者と当組合役員の対談／加入者の声

収入保険・園芸施設共済・水稻共済全相殺方式

〈伯方町〉小川さん



園芸施設共済

〈土居町〉戸田さん



水稻共済全相殺方式

〈菊間町〉森田さん



収入保険

〈保内町〉白石さん夫妻



園芸施設共済

〈野村町〉古本さん



水稻共済全相殺方式

〈熊川町〉(有)CBC予子林 清水さん



収入保険

〈満穂〉相原さん

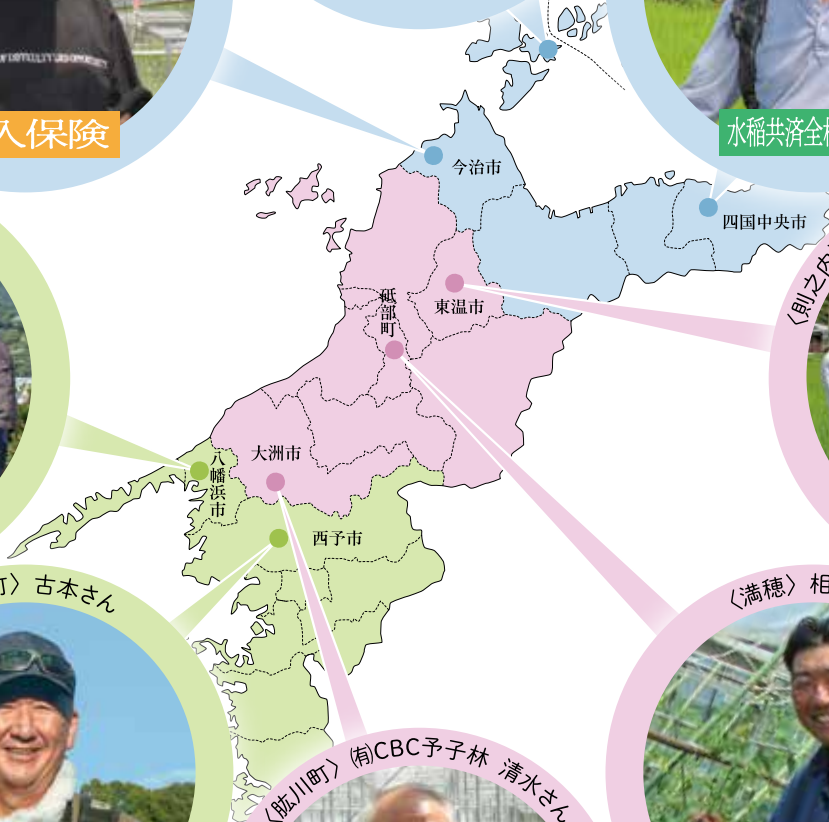


園芸施設共済

〈則之内〉和田丸集落営農会 白戸さん・渡部さん



水稻共済全相殺方式





「令和3年の台風で露地のひまわりが大打撃を受けました」と森田さん▶

収入保険

— 花農家の実態と収入保険への印象 —

対談

組合長

ひら た

平田

よし ゆき

義之

今治市菊間町

もり た かず ひと

森田 和仁さん(44)

【経営規模】アネモネ25畝、ヒマワリなど20畝、
キュウリ16畝

【就 農 歴】14年

挑戦の下支えとして機能

でしたが、収入保険を何で知りましたか。
森田さん 近所の農家さんから「めちゃくちゃえ保険だ」と聞いたのがきっかけですね。あとはN O S A I職員から丁寧な説明があり、加入を勧めてくれたっていうのもあります。

組合長 収入保険の仕組みを知っていかがでしたか。
森田さん 最初に思ったのが、「そんな保険あるわけないでしょ」でしたね。

組合長 おっしゃる通りで、農家の方から「本当にこれでいいの？」とよく言われます。
森田さん 農家間のつながりから加入はもっと広がっていくと思いますし、連れてきてくれたら、いくらでも推進しますよ。ただ、僕がキュウリの栽培を始めて思うことは、肥料等の価格高騰で経費がかかり、実際の所得はそこまでない。それでも農業収入全体としては売り上げが上がっているので補償対象にならない。そういう現象が起ることもありますね。

組合長 そうですね。「補助金」ではなくてあくまでも「保険」なのでそういうこともあります。それでも収入全体を補償するということが農家の希望に沿っているため評価されていると思います。新規就農された方や新たにチャレンジする方を後押しする保険でもあるので、そういう方にぜひ活用いただきたいと思っています。

森田さん かなり評価はしていますし、後押しになると思います。

組合長 収入保険の掛金が高いという声もあります。が、どう感じていますか。

森田さん 僕は掛金が高いとは思いませんね。一度保険金をもらったら分かかると思います。

加入しないなんて「もったいない」

過去の危機へ救いの手

組合長 森田さんが農業を始めた当初はいかがでしたか。

組合長 新規加入時の掛金は高いかもしれませんが、積立部分は掛金ではなく預け金なので、やめたときには当然お返しするものだというをお伝えしておきたいです。

資金も意見もつなぐ

組合長 収入保険について、何か要望はありますか。
森田さん 「つなぎ融資」についてなんです。今「つなぎ」が必要だという時に減収分しかもらえないので、後で返済することになったとしても、必要額を融資してほしいですね。たちまち必要な資金に間に合わないのも、もっと早いタイミングで融資が受けられると良いと思います。どうにもならない時ってありますからね。この前、土壌消毒をしたんですが、ガスが出てしまいヒマワリが枯れてしまったんです。1週間のうちにかなりの損失が出ました。こういう時に次の種代を融資してもらえると助かる



「収入保険がなかったら間違いなく農業を断念していました」と森田さん

などと思いますね。

組合長 「つなぎ融資」は、いわゆる「融資」ではなくてあくまで保険金を受け取るまでの「つなぎ」です。被害の査定や計算に一定の時間を要しますので3週間程度かかってしまいます。

森田さん 就農して間もない方やそういうちょっとしたことでもつまづいてしまう人も絶対いると思いますよ。

組合長 収入保険は国の制度なのでだいたい5年に1回くらい制度改正があるので、その時にそういった農家の声を国につないでいきたいと思っています。

森田さん それでも収入保険は良い保険ですよ。加入しないなんてもったいない。

組合長 こちらの地域は加入率が高いですけど、花卉栽培のお仲間や組合が把握していない青色申告者の方もご紹介いただけたら助かります。

森田さん そういう方って直接出荷しているんじゃないですかね。

組合長 出荷先は問いません。青色申告していれば加入できます。収入保険はとにかくオールリスクに対応できるので、まだ加入されていない方に検討してほしいですね。いらっしやったらぜひ。

「守る」から「攻める」保険へ

組合長 森田さんにとって経営上の一番のリスクは何でしょうか。

森田さん 冬に植える苗の状態の良し悪しですね。そこで駄目になってしまうと何か植えようとしても何もなくて、そこから半年の収入がなくなってしまうから。それとお客さんが花離れしている気がしますね。

組合長 物価が上がってまずは生活必需品が優先さ



「収入保険は市場変動や消費者動向のリスクにも対応します」と平田組合長

れるというのはあるかもしれないですね。花はどうしても嗜好品扱いになってしまいますからね。

森田さん それに若い人達はお墓参りにも行かない人が多くなっていると言います。そのうち全部キュウリにしないといけない時が来るかもしれない。その時に収入保険があれば助かるでしょうね。

組合長 今までの共済制度は「守り」の保険でしたが、この収入保険は新しいことにチャレンジできる「攻め」の保険になっていますからね。

森田さん 攻めますよ。でも今のところは大丈夫そうですね。単価もいいですし。

組合長 森田さんの人柄も武器になっているんですよ。

森田さん それはあると思います。やっぱり「せり人」と親しくならないと。人間同士ですから大事なことです。

組合長 最後に、収入保険は農業保険法という法律によるものですが、法案は全会一致でできたものです。国の予算もかなり計上されていますので、ぜひ「攻め」に活用してください。

8ページにも収入保険加入者の声を掲載しています。



園芸施設共済

— 2月の大雪被害と園芸施設共済の補償内容 —

副組合長
木村 貞喜

対談

八幡浜市保内町
白石 光弘さん(57)
由美さん(61)
【経営規模】かんきつ300㍓
【就農歴】25年

被災後「すぐに復旧」できた

後継者と補償で豊かな安心を

副組合長 ご家族で経営されているんですか。

光弘さん そうです。家族経営なので多品種の収穫時期をずらして、極早生ミカン・早生・温州ミカン、紅まどん

な・ボンカン・せとか・イヨカンなど約3鈔を栽培しています。
副組合長 家族経営で3鈔はすごいですね。

由美さん この辺りでは5鈔とかは普通なので、中くらいですね。

副組合長 かんきつでこれだけの規模となると本当に大変だと思うんですけど、おふたりだけでされているんですか。

光弘さん あとは息子(淳八さん(29))

光弘さん はい。4棟潰れました。自分のところは大丈夫だろうと思いがちでも、周りがバタバタと倒れていて、気づいた時にはこの山にはもう上がれませんでした。40鈔くらい積もってましたから。

副組合長 ハウスの中は何だったんですか。

光弘さん せとかを収穫した後でした。実があつたら雪を溶かすために暖房をかけて用心してたんですが。

副組合長 ここへ来る途中に、まだ潰れたままのハウスがいっぱい残っていました。白石さんは共済に加入されていたということで再建の支援ができたのではないかと思います。もしなかったらどうでしたか。

光弘さん 地域にはハウス栽培をやめてしまう人も多いと聞きます。ことこのハウスのがもし両方潰れてたら、やめていたかもしれません。

副組合長 差し当たっては、共済金の手助けにはなったということですね。
光弘さん になりました。でも修繕費は半分以上は自分で賄えませんでした。

副組合長 基本は時価までの補償しかありません。後は特約を付ければ拡大はできるんですけど。

光弘さん うちはまだハウスを建てて8年なので補償額がそれほど下がってないと言われました。やっぱり10年超えてくると下がりますね。

副組合長 そういった農家さんの要望を組合が農水省に伝えることで制度改正につながっていくので、なんでも言

っていたら。 **光弘さん** 一つ後悔しているのが、解体費の補償が含まれていなかったんですよね。ほんの少し掛金を足したらそういう特約があることを今回初めて聞いて。

副組合長 そこは組合としてあまりお勧めできていなかったですね。2月の大雪があつて、これではやっぱり再建に十分ではなかったということで、農家の方にご迷惑をおかけしたと思っています。他に園芸施設共済に期待することなどはありますか。

光弘さん 古くなるとどんどん補償が下がってくるので心配です。年数が経過しても十分補償される共済ならもっと助かります。

副組合長 息子さんがおられますが、ご自分もまだ頑張れるというところでしょうか、なにか考えておられることがあるんでしょうか。

由美さん 今は息子と3人なので、現状維持ですね。面積は増やさず、正比率を上げて、いいものを作って単価を上げていくことですね。

副組合長 息子さんと一緒にもらえるというのが本心に強いことだと思います。息子さんも含めて若い方にメッセージや期待などありますか。

光弘さん 私も結婚してから農業を始めましたが、やってよかったと思います。万が一に備えてさらに手厚く補償されるような制度を作っていたら、そういうのを活用しながら農業を楽しんでもらいたいですね。

と。もう何年になるかな。

由美さん もう9年、10年になるかな。

副組合長 じゃあ、後継者がいらつしやるということですね。ご自身の後をやってくれるっていうのは、本当に安心ですね。

光弘さん そうですね。息子がいなかったらハウスもやってなかったですね。ちょうど息子が後継者になったくらいにハウスを始めたんですよ。

副組合長 以前からハウスがあつたわけじゃないんですね。

光弘さん 無加温のハウスは昔からあつたんですが、加温ハウスを本格的に始めたのは8年前ですね。最初は大変でした。ちょうど私がやり始めた時つてイヨカンもミカンも安かつた時期で、かんきつの低迷期でしたね。でもだんだんかんきつの価格が上がってきたので、ハウスだったら単価を上げられる



「万が一に備えておく必要性を実感しました」と話す光弘さん(右)と愛犬の小梅(5)を膝に乗せる由美さん(左)



「内作は手厚い補償の収入保険をご検討ください」と木村副組合長

かなと思いました。面積を増やすより単価を上げることを目標にやってきました。

副組合長 園芸施設共済に加入されているんですね。いつ頃加入されたんですか。

光弘さん ハウスを建ててすぐですね。ミカンのハウスは夏はビニールを剥がすので台風が来てもそれほど気にしてなかったんですが、加温のハウスは年中張りっぱなしなので、やっぱり共済に加入しとかないかんかなと思って加入しました。

副組合長 誰かに勧められたとかがあつたんですか。

光弘さん 勧められたからと言うよりは、本当に「用心のため」に加入しました。

副組合長 地域的に災害とか、危険かなということが年起こりますか。

光弘さん いえ。今年の2月の雪はよっぽどのことでしたね。自分は共済に加入していたおかげですぐ復旧できたんですけどね。

副組合長 本体も潰れたんですか。



加入者の声

園芸施設共済

農家に寄り添った保険

おがわ たつや
今治市伯方町 小川 竜也さん(42歳)

【経営規模】紅まどんな(ハウス)10㍓、温州ミカン等(露地)70㍓
【就農歴】2年

令和5年に、京都から移住し新規就農しました。当初は、譲り受けた園地で温州ミカンなどの露地栽培を中心に営農する予定でしたが、栽培方法や経営のノウハウなど親身になって相談に乗ってくれた農家さんから、継続的に営農するために施設栽培を勧められてハウスを新設しました。その設置予定場所が傾斜地だったので、自然災害のリスクが高いだろうと心配でした。先輩農家さんからNOSAIにハウスの共済があることを聞きました。どこ

で大きな災害が起こるか分からないし、自然災害には自分の努力だけでは対応できないので、ハウス新設と同時に加入を決めました。小さな被害に対応できるコースの選択や、倒壊したハウスを撤去するための費用も補償してくれる特約を付けることでさらに充実した補償内容になるので、農家に寄り添った制度だと思います。園芸施設共済を経営のセーフティーネットとして活用し、持続可能な農業を目指していきます。



水稻共済全相殺方式

— 米農家同士のディスカッションと地域の現状 —

東温市則之内地区 和田丸集落営農会

白戸 暉男さん(80)
渡部 明仁さん(66)

【経営規模】水稻110.5㍓
【設 立 歴】10年

対談
真鍋 美鈴 理事
白戸 暉男 理事

「皆で入りましようや」

集落全体で営農を守る

真鍋理事 和田丸集落営農会というの

はどんな組織ですか。

白戸会長 営農会自体は設立して10年です。31軒の農家が所属していますが、今は実際に営農しているのは10軒ほどで、月に1回集まって常会をやっている

JAに申告したり、NOSAIの職員に直接連絡したりするのでそんな心配もなかったです。まだ全相殺方式に切り替えて1年目なのでよく分かってない部分はありますが、なんの問題もありませんよ。

白戸会長 全相殺方式に切り替える方は多いですか。

真鍋理事 中予支所の管内では東温市の加入率が高いです。40%くらいの方が全相殺に加入しています。組合全体では10%超えたかなというくらいですね。

渡部会計 9割補償というのが魅力ですよ。

真鍋理事 支払割合も多いです。それに、計量結果を見て判断するというところで数字がはつきり出ているので、共済金の支払いに不満が出にくく良い制度だと思えますね。半相殺の場合は、全部の圃場で8割ですから、なかなか



「定期的な情報交換や周知は大事ですね」と真鍋理事

2割は下回らないし、現地評価になるので、見ただけでは実測しないと分かりにくいんです。そういうことから分かりやすく納得していただけるように支払いができるので全相殺方式が良いかなと思います。

最後になにかお伝えしておきたいことはありますか。

白戸会長 土からの命をいただいて人類は生きているのだから、農業を絶やしてはいけないし、日本で消費するのは日本で賄えるような体制づくりをしてほしいですね。

真鍋理事 自分が専業農家だからあまり実感していませんが、食料自給率はずっと上がっていないですよ。地域の協力なくして農業を続けていけないのでぜひとも地域の協力をお願いしたいですね。



加入者の声

水稻共済全相殺方式

未熟米も補償対象が メリット

戸田 英幸さん(64歳)
と だ ひで ゆき

【経営規模】水稻120㍓、里芋24㍓、山の芋7㍓、野菜3㍓
【就 農 歴】30年

たうえに、病害も重なり収穫量が減少したので、共済金を受け取りました。資材高騰等により経営が厳しい時代なので、本当に助かりました。

農業は自然が相手なので計画を綿密に立てていても思うようにいきません。近年は異常気象による災害が毎年のように発生しています。NOSAIにはいつまでも農家に寄り添うパートナーであってほしいと願っています。

NOSAI職員から「乾燥調製作業をJAに依頼しているのなら、平年収量の9割が補償される全相殺方式がおすすめです」とアドバイスをもらい興味を持ちました。

基準収穫量が個人の過去データに基づき設定されるので公平で分かりやすいし、見た目では判断がつかない未熟米にも対応してもらえるということに魅力を感じ、加入を決めました。

昨年は高温障害による生育不良で未熟米が多かつ

私は周桑で水稻を作っていますが、台風で一度、近くの川の堤防が決壊して田に流れ込んだことがあったんです。田んぼ1枚全体に流れ込むんですが、実際には土砂が流れ込んだところだけが駄目になってしまふんですね。それを1枚全部補償してほしいと言ったら、それは無理だという話になってしまいましたからね。それもあって組合も全相殺をお薦めしているんですよ。そういうことがあると個人の収入は思うように上がらないんですよ。災害が起こるといろいろなところに影響してきますし、切り替えて良かったと思いますよ。

そういえば、和田丸さんは暑さに強い「にじのきらめき」を多く作られていますね。

渡部会計 今年からです。昨年は早生品種が暑さで収穫量が少なくて共済金を受け取りました。

真鍋理事 和田丸さんでは支払対象外の方が2、3軒だけだったと聞いています。昨年は田を見ると結構収量はありそうに見えて、実際刈ってみると粒張りが悪く、収量が少なかった年になったと思いますけど、だからこそ全相殺方式の力が発揮できたんじゃないでしょうかね。

白戸会長 加入して1年目で実感できましたね。中山間地なので水はあるんですが、暑さには勝てなかったね。

真鍋理事 全相殺の被害申告が分かりにくいとかはありませんか。

渡部会計 こころは被害があればすぐ

真鍋理事 その常会で集まった時に水稻共済のことが話題になったりするんですか。

白戸会長 当然なりますよ。私と渡部さんは先に全相殺方式に切り替えていたんですが、加えてNOSAIの職員が詳しい説明をしてくれました。渡部さんが熱心にみんなに勧めてくれたので、説得されて皆で加入したという経緯ですね。

真鍋理事 令和3年まで主流だった一筆方式は圃場1枚ずつの被害を見るものでしたが、全相殺方式は農家単位の被害を補償するものということを受け入れられにくいんじゃないかと心配していましたが、どうでしたか。

白戸会長 全く抵抗はなかったですよ。私は評価員をしていましたが、こちら辺りはイノシシの被害が多くあるので、「被害を確認してほしい」と頻繁に言われていました。それに地域全体が被害を受けることが多いです。それなら「皆で入りましようや」ということになったんです。ちょうどその時、全相殺をご紹介いただいたので昨年、皆全相殺に切り替えました。タイミングも良かったんです。

渡部会計 昨年はイノシシの被害のほかに高温障害による減収があったわけですけど、半分ほど被害を受けた田がいくつかあって、みなさんの関心も高まっていました。

真鍋理事 イノシシだけでなく被害を受けると思ったら全体ですからね。

収入保険

周りにもおすすめしたい



トマト栽培を営む農業法人「有限会社CBC予子林」の代表を務めています。
収入保険のことは導入直後から知っており毎年加入を検討していましたが、収益が安定しており順調な経営を維持できるなら加入しなくても大丈夫だろうという思いから、加入を見送ってきました。

しかし、昨夏の猛暑により、ハウス内の環境を適切に管理するコンピューターシステムの制御盤が機能しませんでした。最近では気象が読めず管理が難しいことと、知り合いの農家が加入しているということから、令和6年に加入を決めました。

トマトは、コナジラミ病という病虫害にかかりやすく、一度かかるとすぐに広がるので手早い防除が必要です。また、7月末にトマトを定植するので夏の高温により苗が枯れないよう水の管理も重要になります。

これまで気を張っていた管理体制が、収入保険のおかげで少しゆとりができたところが良かったです。周りにも収入保険の加入をおすすめしたいですね。



【経営規模】トマト（ハウス）111畝
【就農歴】58年

有限会社CBC予子林

大洲市肱川町 清水 公健 さん(76歳)

【経営規模】野菜等（キャベツ、ホウレンソウ、コマツナなど）428畝
【就農歴】23年



▲小損害不填補1万円特約を付帯しています

伊予郡砥部町 相原 雄一 さん(47歳)

園芸施設共済

備えの大切さを実感



ここ満穂地区は標高が高く、涼しい気候を生かした野菜作りが盛んな地域です。両親の代からお世話になっている園芸施設共済と共に、経営を引き継ぎました。

令和4年12月に約50センチの積雪がありハウスが2棟倒壊し全損となってしまいましたが、受け取った共済金を元手にハウスを復旧させることができたので加入していて良かったです。改めて備えの大切さを実感したのをよく覚えています。

支柱の位置や向きを調整し補強をしています。自然の力は予測がつかないので万が一の備えは不可欠です。春先の突風や台風、大雪など一年中被害に見舞われやすい地域なので、小さな被害でも補償の対象になるのはありがたいです。

また、最近はビニールハウスの資材費が高騰しているため、より多くの補償を受けられるよう復旧費用の付保割合を追加しようと考えています。内作物は収入保険に加入しているので、園芸施設共済で外側からもしっかり保護したいですね。

水稲共済全相殺方式

9割補償が決め手



水稲共済には親の代から加入しています。ウンカやイノシシなどの被害がいつ起きるかわからないので、就農してからずっと継続加入しています。

一筆方式が廃止されてからは方式の見直しを行い、全相殺方式に切り替えました。乾燥調製施設で把握した過去の実績で基準収穫量が決まるので、実情に見合った基準になり、補償も9割と他の方式と比べて高いところが決め手となりました。近年多発している干ばつは、目視では被害把握が難しいので、減収量も正確に分かるところが利点だと感じています。

その上で、「にじのきらめき」などの多収米品種へ切り替わったときに収量増加を見込んだ基準補正がされるようになればさらに良いと思います。

今後は農作業の労力を少しでも軽減できる方法を考えながら質の良い米を作ることに励みたいです。高齢化などで米を作る人がどんどん減少していますが、昨年のような米不足が発生しないように、次世代の担い手が増えてほしいですね。



【経営規模】水稲767畝
【就農歴】30年

西予市野村町 古本 陽一 さん(62歳)

発行／愛媛県農業共済組合

HPのアクセスはこちらから▶
<http://www.e-nosai.or.jp>



本 所	〒790-0002	松山市二番町4丁目4番地2	TEL(089)941-8135
東 予 支 所	〒793-0006	西条市下島山甲1324番地2	TEL(0897)55-2955
今 治 出 張 所	〒794-0026	今治市別宮町9丁目1番53号	TEL(0898)31-2800
中 予 支 所	〒790-0966	松山市立花1丁目8番42号	TEL(089)941-4623
伊 予 出 張 所	〒799-3113	伊予市米湊825番地9	TEL(089)982-0534
南 予 支 所	〒797-0017	西予市宇和町ひまわり1番地4	TEL(0894)62-2123
愛 南 出 張 所	〒798-4131	南宇和郡愛南町城辺甲283番地第1	TEL(0895)72-0201

